



平成29年度 学校だより

緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

No. 147 平成29年 6月30日発行

発行責任者 松井 裕次

校長室の窓から

想いをつなぐ

校長 松井 裕次

描き出せ 限界点の向こう側

これは今年度の県高校総体の大会スローガンである。総合開会式は、かきどまり陸上競技場で行なわれ、ソフトテニス部・バスケット部・サッカー部が参加し、県下屈指の見事な行進を見せてくれた。各競技では、3年生がこれまで流した汗と涙の集大成と、後輩の目標となる試合をやりきった。体育部活動の総仕上げともいえる大会で、それぞれの限界点を押し上げたことだろう。1・2年生は、3年生を支え、その頑張りをしっかり目に焼き付けたに違いない。

その想いはつながれた。

想いをつなぐ

バスケットボール部女子が県北初の歴史的な優勝を収めた。「想いをつなぐ」は女子バスケットボール部の先輩・後輩の間で綿々と語り継がれている言葉でもある。これまでも頂点をとるチャンスは幾度と無くあったが、長崎西という大きな壁にことごとく跳ね返されてきた、その先輩方の悔しい想いは、頂点を目指す後輩たちへ熱い想いとして引き継がれ、チームとしての成長につながってきた。その延長に、今回の快挙がある。ゼロからのチームが数年でできることではない。監督・コーチ陣の熱意溢れる指導のもと、先輩方からつながってきた想いが成し遂げた優勝である。その想いは、南東北インターハイへとつながれていく。インターハイの会場は福島市。本校は修学旅行で福島県いわき市での震災・復興学習に取り組んでいる。知らない土地ではない、不思議と心強い気がする。

福島へ南高生の想いをつなぐ。

限界点に学ぶ

できる方法を考える前に、できない理由を考えてしまう。限界は自分自身がつくっていることが多い。勝負は相手との戦いである前に、自分自身との戦いでもある。勝負の流れは、既に試合の前にも始まっている。技術や体力の前に、まず「気持ち」で負けてはいけない。その気持ちを応援は後押ししてくれる。

バスケット女子最終戦、バス8台で駆けつけた南高応援団。スタンドには大声援が響き渡った。苦楽を共にしたチームの仲間、「オール南」の応援がついていた。試合終盤はまさに限界点。選手と応援が一体となって、失いかけた流れを引き戻したのだ。そして、歴史的瞬間を迎えた。フロアの選手はもちろんスタンドの応援団の目にも歓喜の涙が溢れていた。

応援の力が想いをつなぐ。

限界点に至る道、そして限界点を支える人々

目標を達成したチーム・自己ベストを出した選手は新しい景色を見ただろう。その体験は自分自身と後輩達をさらに高めてくれるに違いない。一方、今回は見えなかった人もいるだろう。しかし、それぞれの限界点に至る道の方が大切だ。努力は形を変えてでも必ず実る。また、これまで多くの人が応援し支えてくれたことに気づき、感謝の気持ちを表現できることにこそ大きな意味がある。さらに、部活動を通して各種大会の補助員を経験した人は、会場作りから駐車場係、オフィシャル、後片づけ、ゴミ拾いまで、知らなかった仕事の多さに気づいたことだろう。

支えてくれる誰かの想いをつなぐ。

それぞれのチーム・個人に限界点とその向こう側があるように、進路実現の道も同じである。限界点を「未来への挑戦」と置き換えることができる。主体的な学習の中で、自分自身に負荷をかけ、修正をかけながら限界点を押し上げていきたい。より高みを目指しチャレンジを続けてほしい。

新たな未来に想いをつなぐ。

女子バスケットボール部 初優勝！

男子バレー部 3位

水泳部 400M・800M自由形 3位
400M個人メドレー 3位

○高総体について

今年度の高校総体は、6月2日（金）、長崎市総合運動公園かきどまり陸上競技場で総合開会式が開催され、これを皮切りに県内各地の各競技会場において熱戦が展開されました。

好天の中行われた総合開会式では、団長の木原教頭先生を先頭に73番目に入場した本校。旗手の中尾涼音さん(女子バスケットボール部主将)以下バスケットボール部男女、ソフトテニス部男女、サッカー部の総勢106人による本校選手団の入場行進は実に堂々たるものでした。



今大会には本校から226名の選手がエントリーし、団体種目においても個人種目でも、南高のすべての選手がそれぞれの競技で最後の瞬間まで精一杯戦い抜きました。特に女子バスケットボール競技は創部以来初となる優勝という歴史的な結果でした。また、男子バレーボール部が3位入賞、水泳競技においても女子400M・800M自由形で南里さんが3位、400M個人メドレーで永井さんが3位となるなど、複数の種目で入賞する好成績を収めました。上位大会（インターハイ・九州大会）に出場する選手たちの健闘を祈ります。

女子バスケットボール部の決勝トーナメント1試合目は宿敵、長崎西高校と対戦。2月の新人戦で勝利している相手ですが、4月の春季戦では負けている相手でした。事実上の決勝戦とも言われた試合で、1クォーターから積極的に攻め、1度もリードを許すことなく見事に勝利しました。その後も西海学園高校に勝利し、長崎女子高校との接戦を征し完全勝利での初優勝。本校の大応援団が集結した県立総合体育館。歴史的な瞬間に立ち会えた生徒と必死に戦い抜いた選手で歓喜の渦が巻き起こりました。各運動部では、来年度の大会を見据えて、新チームによる活動がはじまっています。

本年度の主な結果は次の通りです。

●バスケット（女）	優勝	（九州大会・インターハイ出場）	
●バレー（男）	3位		
●水泳	5位	200M バタフライ	水町 匠（九州大会出場）
	3位	400M 自由形	南里 愛恵（九州大会出場）
	3位	800M 自由形	南里 愛恵（九州大会出場）
	5位	200M 個人メドレー	永井 知美（九州大会出場）
	3位	400M 個人メドレー	永井 知美（九州大会出場）
●ソフトテニス（女）	団体戦：ベスト8		
●ヨット	男子シングルハンダー級： 優勝 畑田 了悟（九州大会出場）		
●少林寺拳法	女子 単独演武の部（自由）： 2位 石本芽衣美（九州大会・インターハイ出場）		

『心キラッと南高』旬間

6月14日（水）から30日（金）までを「心キラッと南高」旬間とし、スクールカウンセラー講話、人権学習、美化コンクール、公開授業、保健委員会の活動等、「いのち」・「思いやり」・「マナー」をキーワードにさまざまな取り組みを行っています。

○スクールカウンセラー講話

6月14日（水）の7校時に、全校生徒を対象にしたスクールカウンセラー講話が行われました。これは、“心の健康づくり”を目的として、毎年2回ずつ実施されています。

今回は、「アサーションを学び、学校生活を円滑に送ろう！」というテーマで講話がありました。アサーションとは、より良い人間関係を築くための、自分も相手も大切にしたい表現方法のことです。アサーションを学ぶことで、相手の気持ちを尊重しながら、自分の気持ちをうまく表現することができ、コミュニケーションがスムーズに行えます。講話の中では、4名の教員による寸劇も披露され、どのような表現方法だとより良い人間関係を築くことができるのか生徒たちは学ぶことができました。



○人権学習

6月22日（木）に人権教育講話が実施されました。今年は松浦市役所 子育て子ども課で保健師をされている松永京子先生をお迎えして「これから親になるあなたたちへ」という課題で講話をいただきました。保健師としての専門的な話のもとより、佐世保市や今の高校生の実態に応じた内容を盛り込んでいただきました。新しく宿った命をどのようにして守っていけばよいのかなどについて、深く考えるいい機会を与えていただいたと思っています。



○美化コンクール

南高では、美化意識の向上と勉強しやすい環境をつくることを目的とし、毎年2回、クラス対抗で「美化コンクール」を行います。今年度1回目は、6月12（月）～16日（金）の5日間で実施しました。「教室」と「廊下ロッカー」を評価の対象に設定し、生活美化委員長や各クラスの美化委員が中心となって、生徒たちの積極的な取り組みが見られた5日間でした。これからも日頃の清掃活動に真剣に取り組み、いつまでも美しい佐世保南高が保たれることを望みます。



【1学年の部】

優勝 1年4組

2位 1年2組

【2学年の部】

優勝 2年6組

2位 2年4組

【3学年の部】

優勝 3年6組

2位 3年2組

○公開授業

6月12日（月）から6月20日（火）まで、佐南オープンデー・学びシェアプログラム（前期公開授業）を開催しました。職員が教科の垣根を越えてお互いの授業を見学し合い、授業研究を行う行事ですが、今年度は、長崎県立大学、長崎国際大学の学生の方や先生方にも多く来校していただきました。教職員にとっては、自分たちの授業をより魅力あるものとするための良い機会となりました。今後も職員・生徒、気持ちを1つにして、将来の進路目標達成のために努力していきたいと思います。後期も実施いたしますので、ぜひ、南高生が生き生きと学習に取り組む姿を見ていただけたらと思います。



○AED講習会

6月12日（月）に1学年を対象に、自他の命を守るための実技研修に取り組みました。この日は、県教育長をはじめ多くの教育委員会関係者も本講習会を参観され、周囲の生徒も若干緊張気味ではありましたが、講師として来校された消防隊員（救急救命士）の方の丁寧なご指導のもと真剣に取り組むことができました。事前に保健の授業で理論を学んでいましたが、実際にやってみるとなかなかスムーズには行かないようで、多くの生徒が実技の難しさを感じていました。この経験をもとに、今後の緊急時の対応に積極的に携わっていく意識を高めて欲しいと感じています。



○7月行事予定

3日（月） 野球・吹奏楽壮行式
8日（土） 進研実力 <1・2年>
進研模試 <3年> ～9日
11日（火）・12日（水） 校内大会
13日（月） 三者面談 <全学年> ～19日
15日（土） GTEC <1年>
長崎大学オープンキャンパス <2年>
Sプロ <1・3年>
難関大学校流会 <2年> ～16日



20日（水） 全校集会、大掃除
21日（木） 補習 <全学年>
22日（土） Sプロ <全学年>
22日（土）・23日（日） 吹奏楽コンクール
24日（月） 学習合宿 <3年>（～30日）
25日（火） 学習合宿 <1年>（～29日）
29日（土） Sプロ <2年>
GTEC <2年>
31日（月） 補習 <1・2年>

